

第五十六回
帝國議會
貴族院

肥料管理法案外二件特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

肥料管理特別會計法案

米穀需給調節特別會計法中改正法律案

委員氏名

委員長 子爵渡邊 千冬君
副委員長 男爵東郷 安君

侯爵大隈 信常君

子爵松平 直平君

子爵大河内正敏君

男爵松岡 均平君

男爵近藤 滋彌君

石井省一郎君

志村源太郎君

室田 義文君

湯地 幸平君

加藤政之助君

板谷 宮吉君

根津嘉一郎君

山田 惠一君

昭和四年三月十九日(火曜日)午後一時十七分開會

○委員長(子爵渡邊千冬君) ソレデハ委員

會ヲ開會イタシマス、此委員會ニハ肥料管

理法案ト、肥料管理特別會計法案ト、二ツ

ノ法案ガ付託サレテ居ルノデアリマスガ、

便宜上兩案トモ本日政府ノ御説明ヲ煩シタ

イト思ヒマス、尙ホ米穀需給調節特別會計

法中改正法律案ガ付託サレテ居リマスガ、

今ノ肥料管理法案ノ説明ヲ願フタ後デ、適當

ナ機會ニ又御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(山本悌二郎君) 肥料管理法案

並ニ之ニ伴フ特別會計法案提案ノ理由ニ付

キマシテハ、過日ノ本會議ニ於キマシテ詳

細御説明申上デテ置キマシタカラ、大體御

了解ヲ得タコトト存ジマス、故ニ茲ニ重ネ

テ詳シク御説明申上ゲルノ煩ヲ避ケタイト

存ジマス、詳細ノコトハ私カラ、尙又政府

委員カラ御尋ニ應ジマシテ御説明申上ゲタ

イト存ジマス、要スルニ農村現下ノ實情ニ

鑑ミマスレバ肥料問題ハ極メテ重要デアリ

マシテ、之ニ關スル政策ノ樹立ハ一日モ之

ヲ忽諸ニスルコトハ出來ナイト存ジマス、

而シテ之ガ方策ハ多々存スルノデアリマス

ルケレドモ、就中肥料ノ配給ノ圓滑ト且ツ

其價格ヲ安定セシムルト云フコトハ緊要ト

認メマスノデ、今回之ガ爲ニ此兩案ヲ提出

致シタ次第デアリマス、尙ホ管理計畫ノ內

容等ニ付キマシテハ、政府委員ヲシテ説明

イタサセルコトニ致シマス、ドウゾ御審議

ノ上御協賛アラムコトヲ御願ヒ致シマス

○湯地幸平君 チョット私ハ農林大臣ニ御

尋ネシテ置キマス、此肥料管理法案ハ大分衆

議院デモ議論ガアッタヤウデシテ、速記録ヲ

見マスト云フト十二三回位議論ガ重ネラレ

テ居ルノデアリマス、今頃御提案ニナッテア

ト日ガ四五日シカナイ、ソレデ此案ハドウ

モ質問打切りノ動議ヲ提出シテ進メルト云

フ性質ノモノデモナイノデスカラ、是ハ會

期ガ幾ラカ延長デモサレルヤウナコトハナ

イノデスカ、チヨット伺ヒタイ、サウ云フ御

見込ミハアリマセヌカ

○國務大臣(山本悌二郎君) 只今迄ノ所デ

ハ、マダ内閣ノ方ニ於キマシテモ會期ノ延

長ト云フコトニ付テハ御話ヲシテ居リマセ

ヌノデス、一體此肥料法案ニシマシテモ、

亦米穀法案ニシマシテモ、疾ニ議會ニ提出

サレテ、貴族院ノ方ニ早ク廻スヤウニ致サ

ナケレバナラナカッタノデスケレドモ、肥料

法案等ニ付キマシテハ政府筋ニ……政府ノ

内部ニ於キマシテモナカ……決定イタシ兼

ネル點ガ殘テ居タ、ソレヲホゴス爲ニ實

ハ議會ニ對スル提案ガ既ニ遅レタヤウナ次

第デ、ソコヘ持ッテ行ッテ衆議院ノ議事ノ都

合デ又更ニ遅レタト云フヤウナ譯デ、斯様

ニ遅クナリマシタ、マダ實ハ此自作農法案

ト云フモノガ今日ニモ廻ッテ來ルデセウガ、

是等ト雖モ疾ニ議會ヘ提出ヲ致シテ、貴族

院ノ方ニモ早ク廻ス手續キニ致サナケレバ

ナラナカッタノデスガ、是モ矢張りナカ……

既ニ提出ニ至ル迄ニ政府ノ内部ニ於テ意見

ガ纏ラナイ所ガアッタノデ、非常ニ遅レテ參

リマシタ、其上議事ノ都合デ又遅レタ、重

ネ重ネ貴族院ニ對シテハ誠ニ恐縮千萬ナコ

トデスケレドモ、アト僅カノ日ニチガ殘タ

今日ニ於テ、之ヲ審議シテ戴キタイト云フ

ノハ、實ハ非常ニ御無理ヲ申上ゲルヤウナ

次第デ、申譯ナイノデゴザイマスガ事情ハ

右ノヤウナ事情デゴザイマス、ドウカ之ヲ

御諒知下サッテ、出來ルダケ會期中ニ御審議

ヲ終ラレルヤウニ御願ヒ致シマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 委員長ト致シ

マシテ私ノ考ヲ此際念ノ爲ニ申上ゲテ置キ

マス、貴族院議員ト致シマシテ何人モ殊更

ニ審議ヲ怠ルト云フヤウナ考ノナイノハ申

ス迄モナイノデアリマスガ、殆ド五六日シ

カ會期ハ殘ッテ居リマセヌ今日、我々ノ委員

會デハ多分四ツノ法案ガ付託サレルコトダ

ラウト思ヒマス、而モ此法案ハ比較的重要

ナ法案デアリマシテ、貴族院ト致シマシテ

ハ十五名ノ委員ニ付託サレルト云フコトハ

餘程重大ナル法案デナケレバ今マデ無イノ
デアルノデアリマス、又衆議院ノ委員會ノ
經過ヲ見マシテモ、今湯地君ノ御話ニナリ
マシタ通りナカ、多クノ日子ヲ費シテ居
ルノデアリマス、サウ云フヤウナ法案ヲ此
短時日ニ於テ議了イタスト云フコトハナカ
ナカ困難ナ事情ガアルノミナラズ、目下貴
族院ニハ非常ニ多クノ法案ガ溜ッテ居リ、又
今日モ來サウニナッテ居ルノデアリマス、殊
ニ此委員會ニハ私ノ知ッテ居リマスダケデ
モ、私ノ外御兩君ハ宗教團體法ノ委員モ兼
ネテ居ラレマス、其外又本議場ニ現ハレマ
ス所ノ法案ニ付テ發言ノ通告ヲ致シテ居ル
者モアル、私ノ如キハ其一人デアリマシテ、
或ハ終日掛リキリニ此法案ノ審議ニノミ
掛ッテ居ルコトノ出來ナイヤウナ事情ガ發生
スルカモ知レナイト思ヒマスノデ、山本農
林大臣ノ御立場ニナッテ考ヘテ見マスト、サ
ウ云フヤウナコトガ發生シマシテハ誠ニ御
氣ノ毒ニ思ヒマスケレドモ、北際能ク御諒
解ヲ願ヒタイト存ジマスノハ、ソレ等ノコ
トガ萬一アリマシテモ、殊更ニ我々ハ審議
ヲ延バス爲ニサウ云フ行動ヲ致スノデハナ
イト云フコトヲ能ク政府ニ於テモ御諒察ヲ
願ヒタイト思フノデアリマス、今年ノ如ク
各種ノ重大ナ問題ガ會期ノ終期ニ於テ茲ニ
累積シテ來ルト云フヤウナコトハ、ヤカマ
シク申シマスト云フト貴族院ノ我々ノ審議

權ト云フモノハ非常ナ壓迫ヲ感ジテ居ルヤ
ウナ次第デアリマシテ、ヤカマシク申セ
バ不平ヲ申ス餘地ガ澤山アルノデアリマシ
テ、其邊ノ事情モドウゾ政府ニ於テ十分御
諒解ヲ願ヒタイト存ジマス

○湯地幸平君 本員ハ宗教法ノ委員ト府縣
制市町村制改正ノ委員ニナッテ居リマスカラ
シテ、是モ段々決定ノ時機ガ近付イテ
參リマシタノデ、時々此委員會ヲ缺席イタ
シマスカラ、豫メ決シテ是ハサボル譯デハ
アリマセヌカラ、委員會ニ於テ御諒承下サ
レタイト思ヒマス

○山田惠一君 此際チヨット申上ゲタイ
ノハ、此肥料管理法ナルモノハ衆議院ニ於
テモ數日ヲ費シテ審議サレテ居ルヤウナ模
樣デアリマス、今此農政上ニ於テハ殊ニ農
業者ノ立場ガ困ッテ居リマス米價ノ問題ヲ、
而モ此委員ニ付託サレテ居リマスカラ、最
モ焦眉ノ急ヲ要スル所ノ米穀調節特別會計
法案ヲ先キニ御審議ヲ願フト云フ譯ニ參リ
マセヌカ、ドウカ委員長ニ御計ラヒヲ願ヒ
タイト思フノデアリマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 委員長ニ於キ
マシテハドノ法案ヲ先キニ致スト云フコト
ヲ固執スル考ヘハナイノデアリマスガ、私
ハ今肥料管理法、特別會計法案ヲ議題ニ致
シタノデアリマスカラ、ソレヲ變更ナサレ
タイト云フ希望デアリマシタナラバ、ドウ

カ動議デモ御提出ニナレバ何デスガ、モウ
政府ノ御説明モアリマシタノデスカラ、ソ
レヲ今カラ撤回ヲ致シテ外ノ法案ノ審議ニ
這入ルト云フコトハチヨット私トシテハ取
扱ヒ兼ネルノデアリマス、左様御承知ヲ願
ヒマス

○山田惠一君 此米穀需給調節特別會計法
案モ併セテ政府ノ御説明ヲ願フ譯ニ參リマ
セヌカ
○委員長(子爵渡邊千冬君) ソレハ宜カラ
ウト思ヒマス、如何デゴザイマセウカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○加藤政之助君 今大臣ノ御話ハ餘リ簡單
デシタガ、本會デモ説明サレタコトデセウ
ガ、本會ニハ我々ハ委員會ガアッテ出ラレナ
カッタノデスカラ、モウ少シク大臣カラデ
モ、係ノ御方カラデモ御説明ヲ願ヒタイノ
デアリマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 加藤君ニ申上
ダマスガ、ソレデヤ政府委員ノ説明ヲ願
タラ如何デセウカ
○加藤政之助君 ドチラデモ宜シウゴザイ
マス
○政府委員(松村眞一郎君) 肥料管理ニ付
キマシテノ計畫ノ概要ヲ申上ゲタイト思ヒ
マス、管理法ノ第二條ニ法律ノ目的ヲ掲ゲ
テアルノデス、肥料ノ配給ノ圓滑又ハ價格
ノ安定ヲ圖ルト云フコトヲ目的ニ致シテ居

ルノデス、此管理法ニ依リマシテ管理イタ
シマスル肥料ノ範圍ハ、第一條ニ掲ゲテア
ルノデス、即チ硫酸「アムモニア」、石灰窒素
及勅令ヲ以テ指定イタシマスルニ至リマシ
タモノノ含窒素化學肥料、之ヲ管理スルコ
トニナッテ居リマス、大體ノ近頃ノ狀況ハ硫
酸「アムモニア」ガ多ク用ヒラレテ居リマス
ノデ、此計畫ハ主トシテ硫酸「アムモニア」
ヲ基礎ニ致シマシテ立ッテ居ルノデアリマ
ス、但シ近時此石灰窒素ノ需要ガ段々増進
シテ居ルノデアリマス、左様イタシマシテ

肥料ノ製造方法カラ申シマシテ色々ノ工程
ガアルノデアリマスガ、石灰窒素法ト云フ
ヤウナ製造方法ニ依リマシテ、一旦石灰窒
素ヲ造リマシテ、更ニ硫酸「アムモニア」ニ變
性イタシテ使ッテ居ルト云フヤウナ狀況モ
アル譯デアリマスカラ、場合ニ依リマシテ
ハ石灰窒素ノ方ヲ直グニ使ッタ方が宜イヤ
ウナ場合モ考ヘラレ、併シ實情ハ先程申
上ゲマシタ如ク、硫酸「アムモニア」ガ今日
ハ中心ニナッテ居リマスモノデアリマスカ
ラ、ソレヲ基礎ニ致シマシテ計畫ヲ立ッテ
居リマス、政府ノ買入賣拂モ亦硫酸「アム
モニア」ヲ以テ致シテ居ル次第デアリマス、
勅令ヲ以テ指定スル含窒素化學肥料ト申シ
マスルノハ、只今ノ所デ所謂新肥料ト稱サ
レマシテ、ボツ、需要ガ起ッテ參ッテ居ル
傾向モアリマス、同ジク化學肥料デアリ室

素ヲ中心ニ致シテ居ルモノデアリマスカラ、ソレモ將來必要ニ應ジテハ硫酸「アムモニア」ニ向ケ變ヘラレマスル範圍ニ於テハ、ソレヲ管理スル必要ガアルドラウト云フ意味デ、肥料ノ範圍ヲサウ云フヤウニ決定イタシタノデアリマス、只今御手許ニ御廻シ致シマシタ肥料管理計畫要綱ニ基キマシテ申上ゲタイト存ジマス、第一ノ點ハ只今申上ゲマシタ點デアリマス、第二ノ點ハ此政府ノ肥料管理ヲ致シマスル方法ヲ、當時的ニ致シマスノ臨時のニ致シマスノ二ツニ分ケテ居リマス、一方ハ常時賣他方ハ臨時賣ト、大體此案ヲ説明シマス便宜上申シタイト思ヒマス、常時賣ト臨時賣ト云フ二ツニ分ケマシテ、管理ノ方法ヲ實行シテ行キタイト考ヘテ居リマス、次ニ其常時賣ト申シマスルノハ、ドウ云フモノヲ目標ニ致シテ居ルカト申シマスルト、肥料ハ一年ヲ通ジテ農家ハ需要ヲ致スノデアリマスカ、其中デ肥料ノ需要ノ最盛期ト考ヘラルベキ期間ハ、三月ト四月ト五月ト六月ト七月ト十月ト、此六箇月ダケガ需要ノ最盛期ニナツテ居リマス、此最盛期ヲ標準ニ致シマシテ、其最盛期中ニ一定ノ數量ノ肥料ヲ、政府ノ方デ常時賣トシテ取扱ヒタイト云フコトヲ考ヘテ居リマス、一定ノ數量ト申シマスルノハ、一番最後ニ掲ゲテ置キマシタ表ヲ御覽ヲ願ヒマスルト、大體此硫酸「ア

ムモニア」ノ需要ガ年々増加シテ參テ居リマス、ソレヲ從來ノ趨勢カラ大體目算ヲイタシマスルト、増加率ナドヲ考ヘマシテ算出イタシマシテ、略、一年二五萬噸ヅ、位ノ増加ハアルモノト見テ宜カラウト云フノデ、先ヅ昭和二年カラ昭和十三年ニ至リマスル間ノ需要見込量ト云フモノヲ、別表ノ一番上ノ欄ニ掲ゲテ置イタノデアリマス、其需要量ノ中カラ其次ノ欄ニ、又はハ硫酸「アムモニア」ヲ原料ト致シマシテ合成ノ色ミナ肥料ヲ造ルモノデアリマスカラ、サウ云フ肥料ノ原料ニ使ヒマス額ト、ソレカラ輸移出：：外國ニ輸出シマスモノ、或ハ朝鮮、臺灣ナドニ移出ヲ致シマスルモノ、サウ云フモノト製造原料トフ合セマシタ數量ヲ、其次ノ欄ニ掲ゲテ置イタノデアリマス、ソレヲ差引シマスと、其第三欄ニアリマス農家ノ直接需要ノ見込額ニ相成ル譯デアリマス、此農家ノ直接見込額ハ一年ヲ通ジテノ數量デアリマスカ、此需要最盛期、即チ六ヶ月間ニ於キマシテドノ位ノ數量ヲ需要イタスカト云フノヲ、其次ノ欄ニ掲ゲテ居ルノデゴザイマス、是ハ備考ノ五ノ所ニ説明イタシテ置キマシテ、需要ノ最盛期ハ先程申上ゲマシタ如ク、三月ト四月ト五月ト六月ト七月ト十月トシテ、其期間ニ於キマスル需要量ハ、一年ノ需要總量ノ六割五分ニ當ルモノトシテ算出イタシマシタノガ、

此第四欄目ニアリマスノデ、昭和二年ニ於テハ十七萬六千噸ト斯ウ云フコトニナル譯デアリマス、其最盛期ニ於キマスル需要量ノ半額、即チ六十五「パーセント」ノ中ノ又半分ト云フモノヲ、政府ノ管理シマス目標ニ致シテ居ルノデアリマス、ソレガ其次ノ「同上半量」ト云フ所ニ掲ゲマシタ、併ナガラ此需要ノ半量ヲ政府ガ全部取扱ヒマスコトニナリマスと云フト、商人ガ現ニ取扱ヒテ居リマス分量ニ近イ中ニ食込ム虞ガアリマスノデ、其商人ノ取扱ヒテ居リマス分量マデ食込マナイ範圍ニ於テ、其半量ヲ目標ニシテ管理シテ參リタイト、サウ云フコトニナル譯デアリマス、今日ニ於キマシテハ約四十萬噸ト云フヤウナ需要ニナリマスル譯デアリマスカラ、ソレニ食入リマセヌ爲ニ、昭和七年度ニ至リマシテ初メテ此需要量ノ半數ト云フ十五萬三千噸ニ近イ十五萬噸ト云フモノヲ、政府ガ管理スルト云フコトニ相成ル譯デアリマス、下カラノ二番目ガ政府ノ管理ヲ致シマスル數量ニナツテ居リマス、昭和七年度ニ至リマシテ、初メテ政府ハ十五萬噸ヲ管理イタシ、ソレダケヲ取扱フコトニナリマシテ、サウ致シマスと云フト更ニ六十五萬噸トシテ差引キマスルト、民間デハ五十萬噸ヲ取扱フ、斯ウ云フ關係ニナル譯デアリマス、昭和七年ニ至リマスト今ノ約半量全部ヲ取扱フノデアリマセ

ヌ、昭和二年ニ於キマシテハ五千噸、是ハ二年ハ年デアリマス、是ハ會計年度デハナイ、歷年度、四年度ハ五千噸、昭和五年度ハ八千噸、六年デ一万二千噸、七年ニ至リマシテ一万五千噸、斯ウ云フ順序ニナツテ居リマス、デ此關係デ政府ノ管理イタシマス數量ハ將來ノ需要増加額ノ中ノ幾部分ヲ政府ノ方デ管理スルト云フコトニ相成ル譯デアリマス、一番最後ノ昭和十三年度ヲ見マスト、需要見込額ハ九十五萬噸ニナツテ居リマスルガ、其中政府ノ取扱ヒマスノハ二十三萬噸ト云フコトニ相成ル譯デアリマス、民間デハ其アトノ七十二萬噸ト云フモノヲ取扱ウ、サウ云フ事ニナリマスカラ、民間モ又需要量ノ増加ニ應ジテ活動スル範圍ハ矢張り増加シテ參ルト云フ事ニ計算ヲ致シテ計畫イタシテ居ル次第デアリマス、サウ致シマシテ、政府ノ管理イタシマスノハ、相手方ハ何人ニ賣ルノデアルカト云フ點デアリマス、ソレハ主トシテ産業組合ト云フモノヲ目標ニ致シテ居リマス、産業組合等ノ團體、場合ニ依リマシテハ農會ナドガ肥料ノ購買ナドヲ致シテ居リマスカラ、サウ云フヤウナ農會ナドモ場合ニ依ツテハ取扱ヒテ貴フ考ヘデアリマスルガ、主トシテ産業組合ヲ目標ニ致シテ居ル次第デアリマス、サウ致シマシテ此常時賣ハ今申シマシタ如ク硫酸「アムモニア」ダケニ付テ致シマスノデゴ

ザイマスレドモ硫酸「アムモニア」ガ窒素肥料ノ大體ニ於キマシテハ中心ニナッテ居ル譯デアリマスルカラ、ソレニ依ッテ全體ノ肥料ノ常時ノ相場ヲ編成シテ行クコトガ出來ルノデアルト云フ目的ノ下ニ、計畫ヲ實行イタスト云フ次第デアリマス、デ常時賣ヲ致シマス數量ハ唯今申上ゲマシタ意味ニ於テノ數量デゴザイマス、四ニ書イテアリマスコトヲ只今私が申上ゲタ次第デアリマス、其次ニ臨時賣ヲ致シマスノハ、是ハ今日中央市場ノ賣値段ト、ソレカラ地方ノ消費地ノ集散イタシテ居リマスル場所ニ於ケル小賣値段トノ間ニ隨分開キガアルノデアリマス、殊ニ需要ノ最盛期ノ六月七月ノ頃ニハ隨分高クナルノデアリマス、昂騰イタシマス事ガ從來多ク、其際ニ甚ダシイ暴騰ヲ致シマシタ場合ニハ、政府ノ貯藏イタシテ居リマスモノヲ臨時ニ賣出シマシテ、サウシテ全體ノ暴騰ヲ抑止イタスコトニ致シタイ、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ臨時賣ヲ致スノデアリマス、其コトハ第六號ニ書イテ置キマシタ、大體此六月七月ニ需要イタシマス肥料數量ノ二割乃至三割見當ノ貯藏ヲ致シテ置キマシテ、サウシテ之ヲ暴騰ノ際ニ賣出ス、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、サウ致シマシテ此常時賣臨時賣トモ、時價ニ準據シテ値段ヲ定メマス、是ハ法案ノ第三條ノ項ニ書イテ居ルノデアリマス、

時價ニ準據イタシマシテ賣出シヲ致スノデアリマス、市場ノ時價ト懸ケ離レテ、政府ガ獨斷的ニ定メタ値段デ市場ヲ支配シテ行クト云フ、是ハ迫モ出來ナイコトデ、時價ニ準據シナガラ暴騰ヲ抑ヘテ行クト云フ積リニ致シマシテ、計畫イタシテ居ル次第デアリマス、次ニ此常時賣及臨時賣ニ供シマスル量ハ、政府ノ方デ豫メ計畫ヲ立テマシテ、或數量ヲ買入レルト云フ積リニ致シテ居ル、臨時賣ノ方モ其第九號ノ方ニ掲ゲテ置キマシタノデスガ、臨時賣ノ方ハ肥料ハ主要集散地ノ數箇所ニ民間ノ倉庫ヲ指定シテソレニ保管ヲ委託スル積リデアリマス、常時賣モ矢張り這入ルノデアリマスガ、アレモ民間ノ指定倉庫ニ委託スルノデアリマスガ、大體常時賣ノ方ハ豫メ産業組合ナドカラ需要ノ見込ミ額ノ申込ヲ受ケテ賣ル積リデアリマスカラ、餘リ倉庫ニハ保管イタサナイデ工場ナリ或ハ陸揚ダノ場所カラ成ルベク直接ニ産業組合ノ方ニ輸送イタシテシマウ考ヘニ致シテ居ルノデアリマス、民間ノ倉庫ヲ餘リ多ク使ハナイ計畫ニ考ヘテ居ルノデアリマス、民間ノ倉庫ヲ利用スル積リデアリマスカラ、政府ニ於テハ倉ヲ建デテ持ッテ居ルト云フ事ハ致サナイ、其次ニ職員ノ配置ノ問題デアリマスガ、農林省內ニ肥料管理ノ爲ニ一ツノ課ヲ設ケマシテ、此肥料配給ノ問題ノミヲ取扱ハセルト云フ積リデ

アリマス、肥料ノ主要集散地ニ數箇所ニ事務所ヲ設ケマシテ、其地方々々ノ集散狀態配給ニ付テノ事務ヲ取扱フト云フ考ヘニ致シテ居ルノデアリマス、サウ致シマシテ此管理ニ關シマスル一切ノ歳入歳出ヲ、別途此委員會ニ付セラレテ居リマス肥料管理特別會計ニ於キマシテ、一般會計カラ分離イタシマシテ、經理ヲ致シテ行クト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、本事業ヲ遂行イタシマスニ付テノ借入金ノ最高限度ヲ、二千万圓迄ニ致シテ居リマスノデアリマス、其限度ハ肥料管理特別會計法ノ第六條ニ掲ゲテゴザイマス、二千万圓ヲ最高限度ニ致シマシテ借入ヲ致シテ參ルト云フ計畫、大體ハサウ云フ程度デ運用シテ參ル積リデアリマス

○國務大臣(山本悌二郎君) 少シ順序ガ前後イタシマシタカ存ジマセヌガ、私カラ一應冒頭ニ御話申上ゲテ置キタイと思ヒマス、ソレハ一體ドウ云フ譯デ斯ウ云フ案ヲ考ヘタカ、ドウ云フ必要カラサウ云フ案ヲ立案イタシタノデアアルカト申シマストデス、色ミ此唯今ノ農村ガ非常ニ疲弊イタシテ居ルノヲ、救済スルト申シテハ語弊ガアルカ知レマセヌガ、漸次之ヲ引キ立テ、作振シテ行クト云フ方策ヲ考ヘテ見マスルト、種々様々ノ方法モアリマスケレドモ、ソレ等ノ豫算計畫デ實行ノ出來ルモノハ、出來ル限り本年議會ノ協賛ヲ得マシタ、アノ豫算ニ計上イタシタノデアリマスルガ、特ニ生産費ヲ安クサセルト云フコトガ目前ノ急務デアリマスルガ、ソレハドウシタラ宜カラウ、斯ウ考ヘテ見マスルト云フトデス、其中ノ最も大事ナ問題ガ肥料デアルト云フ事ヲ考ヘマシタノデ、ト申シマスノハ農家ノ農産物ノ生産費ノ殆ド半分ハデス、大體肥料デアルト云フコトハ、モウ明カナ事實ニナッテ居リマスノデアリマス、所ガ此肥料ト云フモノハ割合ニ地方ニ依ッテ、又時期ニ依ッテ非常ニ不同ニ農家ニ供給サレテ居ルノデアリマシテ、ソレガ數量ノ上ニ於テ不同ニ供給セラレテ居ルノミナラズ、價格ノ上ニ於テ非常ニ不平均ニ農家ニ供給サレテ居ル、殊ニ肥料ノ最盛時期ト申シマスレバ三四五六、七八ハ除キマシテ九十ト、此六箇月ガ需要ノ最盛時期デアリマスガ、此間ニ於テ月々ニ少ナカラザル高低ガアッテ、農家ハ隨分高イ物ヲ買ハナケレバナラヌト云フ狀態ニナッテ居リマスガ、殊ニ又六七月頃ノ梅雨時期ニナリマスルト云フト、非常ニ暴騰ヲ來ス傾向ガアリマス、全體カラ申シマスルト肥料ノ需要額ト云フモノハ、金高ニ致シマシテ三億五六千万圓カラ七八千万圓モアリマセウカ、其中デ御案内ノ通り窒素肥料ト云フモノガ一番ニ大キナ金額ヲ占メテ居リ、其又窒素肥料ノ中ノ最も大部分ヲ占メテ居

ルモノガ化學的ノ窒素肥料デアリマシテ、其化學的ノ窒素肥料ノ中デ硫酸「アムモニア」ガ中樞デアルト云フ、斯ウ云フ風ナ狀態ニナッテ居リマスカラ、ソレデ本來カラ申シマスレバ徹底的ニ行カウトスレバ、肥料ノ全部ト云フモノヲ專賣ニデモ致シマシタナラバ眞ニ徹底シタル肥料ノ配給圓滑、價格ノ安定ト云フコトモ達成スルコトガ出來ルノデアリマセウ、所ガ專賣トナルト中ミ事ガ大キナリマスカラ、是ハ中ミ容易ノ仕事デハナイノデアリマスルガ、先ヅ第一歩ト致シテ最モ今日使ッテ居ル肥料ノ中ノ重要ナルモノヲ取ッテ、其價格ノ安定、配給ノ圓滑ヲ圖ルト云フコトノ計畫ヲ致シマシタナラバ、相當ニ農家ニ對シテ良好ノ影響ヲ及ボシマセウシ、從ッテ農産物ノ生産費ノ低減ヲ來スコトガ出來ヤウ、斯ウ云フ考ヘカラ政府ノ手ニ於テ窒素肥料ノ中樞デアル所ノ硫酸「アムモニア」ヲ取敢ズ管理シテ、政府ノ手ニ依ッテ之ヲ産業組合等ヲ通ジテ農家ニ直接配付スルト云フ方法ヲ執ル、斯ウ云フコトニ致シマシタ、是ハ實ハ政府當局ダケノ單獨ノ案デモアリマセウ、又單獨ノ考ヘデモアリマセウ、肥料調査會ト云フモノガ御案内ノ通りゴザイマスノデ、此肥料調査會ニ政府ノ考ヲ諮詢イタシマシテ得マシタモノガ、即チ茲ニ提案ヲ致シテ居リマスル兩法案デアルノデアリマス、ソコデコ

シナモノデハマア大シテ役ニ立ツマイデアラウカ……斯ウ云フヤウナ聲ガチヨイ……聞エマスルガ、ソレハ私共モ正直ニ申上ダマスレバ只今申ス通り、本當ニ徹底的ニ行カウトスレバ肥料ノ專賣ト云フ所マデ進メナケレバ行クマイト思ヒマスガ、ソレハ今日ノ財政狀態カラ考ヘマシテ俄ニ行フコトハ出來ナイ、去リトテ此ノ行フコトガ出來ル時期マデ待ツト云フコトハ、餘リ氣ノ長イ話デアラウト思ヒマスルノデ、最善ノ方法ナラズト雖モ、少クとも改善ノ方法デアラウト云フ考ヘノ下ニ之ヲ立案イタシタヤウナ次第デゴザイマシテ、本會デモ尙ホ申上ゲマシタガ、其硫酸「アムモニア」ヲ政府ノ手ニ於テ管理スルト云フコトニナッタナラバ、從來ノ商人ノ權益ヲ侵スコトニナリハシナイカ、斯ウ云フ疑問モ起リマスケレドモ、是ハ肥料商人ノ側ニ於テ特ニ脅威ヲ感ジテ居ルヤウデアリマスルガ、其點ニ於テモ實ハ政府ト致シテ深く考慮ヲ致シテ、農林省、商工省兩省ノ間ニ屢々協議ヲ遂ゲマシテ、從來ノ肥料商人ノ範圍ヘハ餘リ立入ラナイ、是ニ餘リ壓迫脅威ヲ與ヘナイト云フコトニナッテ居ル積リデアリマシテ、ソレハ即チ現在ノ約四十万噸餘リノ硫酸「アムモニア」、之ニハ立入ラナイ積リデアリマス、是カラシテ増加シテ行ク分ヲ管理スル、而モ其全部ヲ管理スルノデハナクシテ、最盛期

ニ於ケル處ノ半分ノ數量デアリマスカラ、大體只今農務局長ガ數字ヲ舉ゲテ申述ベマシタ通りニ、今カラシテ十年後ノ昭和十三年ニ至ッテ全體ノ需要見込額九十五万噸ニ對シテ、政府ノ管理スル數量ハ二十三万噸ニ過ギナイノデアリマス、尤モ最盛時期ニ於ケル需要額ト申シマスルト先ヅ四十五六万噸位ノ見込デアリマスカラ其半分、二十三万噸位ヲ管理スルト云フコトニナル、斯ウ云フヤウナ譯ニナッテ居リマスカラ、全體ノ九十五万噸ノ中ノ僅カ二十三万噸、ソレカラ最盛時期ニ需要スル所ノ約半額ト云フモノニシカ過ギナイノデアリマスカラ、現在商人ノ扱ッテ居ル權益ハ少シモ侵サナイノミナラズ、將來ニ於テ増加シテ行ク分モ全部政府デ管理スルノデハナクシテ、僅ニ其半分位ニ過ギナイ管理デアリマスカラ、商人ニ非常ニ脅威ヲ與ヘルト云フコトハ、之ニ依ッテ十分斟酌緩和サレテ居ルト云フコトヲ政府ハ信ズルノデアリマス、併シ又一面カラ言ヘバ、サウ云フモノガアレバ即チ九十五万噸ノ中ノ二十三万噸ト云フヤウナコトデアルナラバ、折角管理ヲシテ之ヲ農民ニ政府ノ手カラ配付シテモ、其效能ハ薄カラウヂヤナイカ、況ヤ又二十三万噸ノ管理ニ依ッテ其以外ノ肥料ノ價格マデ牽制シヤウト云フヤウナコトハ、出來ルカ出來ナイカ問題デハナイカト云フ又疑問モ起ルノデア

ルガ、併シ是ハ私共十分ニ是ダケノ數量ヲ管理イタシマシタナラバ、價格ノ安定ト云フ點ニ於キマシテモ目的ヲ達シ得ラル、ト信ズルノデアリマス、主トシテ此價格ノ高低ノ最モ激シク農家ニ苦痛ヲ與ヘルノハ、六箇月ノ間ノ肥料需用ノ最盛期ニ於テノコトデアリマスカラ、其最盛期ニ於テノ半分ノ量ヲ調節スルト云フコトニナリマスレバ、是ハ餘程ノ影響ヲ……殆ド決定的ノ影響ヲ與ヘルモノト思フノデアリマス、現ニ米穀法ナンドノ運用ノ狀況ナドヲ見マスルト、大體コチヲノ、我國ノ米ノ產額ヲ六千万石ト見込マシテモ、市場ニ出マスノハ約其半分、三千万石位デアラウト思フノデアリマス、矢張り是デ二百萬、三百万石ト云フ米ヲ買上ゲルト云フヤウナコトデアリマス、確カニ相當ノ波動ハ、矢張り市場ノ價格ノ上ニ及ボシテ居ルノデアリマス、三千万石ノ一割ヲ買上ゲマシテモ、矢張り其波動ガ餘程參リマス、況ヤ最盛時期需要量ノ半額マデ政府デ管理スルト云フコトニナッタナラバ、殆ド是ハ決定的ノ權威ヲ持ツコトニナリハシナイカト思フノデアリマス、デアリマスカラシテ商人ノ權益モ著シク侵スコトナクシテ、相當ノ矢張り效果ヲ此間ニ於テ舉ゲ得ラレルノヂヤナイカト思ヒマス、唯モウ一ツ殘ル問題ハ衆議院等ニ於テモ屢々質問ガアリマシタケレドモ、政府ハ之ヲ管理シテ

農民へ配付スルト云フコトニナッテ、サウシテソレガ今迄ノ商人ガ扱ッテ農家ニ賣付テテ居タモノヨリハ、廉ク行クコトガ出来ナケレバ、ソレガ廉ク出来ナイ、却テ役人ノスル仕事デ、却テ高イモノニ付クコトニナリハシナイカ、斯ウ云フヤウナ何モ屢、アリマシタガ、ソレハモウ細カナ數字ノ上カラ段々説明モ申上ダマスルガ、左様ナ憂ヒハ少シモナイ積リデアリマシテ、矢張り普通商人ノ分ヨリズト廉ク、サウシテ圓滑ニ配給ノ出来ル積リデモアリマスルシ、大體マアチヨット我々ノ素人考カラ判斷イタシマシテモ、普通卸賣ノ元値ト云フモノニ較ベマシテ、農家ガ自分ノ手ヘ渡ッテ來タ時ニ支拂フ代金ト云フモノハ、此間ノ差ハ何ニ依ッテ起ルカト言ヒマスルト、中間ニ種々様々ノ手ヲ經マスノデ、其間ニハ不當ノ利得ヲ貪ル者モ出テ來タリ、或ハ又投機的ノ賣買ヲ試ミル者ガ出来テ來リシテ、其關係カラ元値ヨリハ遙ニ高イモノガ農家ノ手ニ渡ルト云フコトニナッテ居リマスルガ、是ハマア肥料ニ於テノミナラズ外ノ品物デモ其通りノヤウナ状態デアリマスルガ、之ヲ直接ニ仕入元カラ農家ヘ配付スルト云フ方法ガ立チマスレバ、此間ノ種々ノ弊害ヲ除去シテ、割合ニ廉イモノヲ配付スルコトガ出来ルト云フコトハ、是ハ常識的ニモサウ判斷スルコトガ出来マスノ

デスガ、實際政府ノ方ニ於キマシテ算盤ヲ立テ、居ル所ニ依リマシテモ、是ハサウ云フ風ニナルヤウニ思ハレマス、結局ソレデゴザイマスカラ世間デ怖レテ居ル商人ノ權益ヲ侵スト云フヤウナコトモナイ積リデアリマスシ、又之ニ依ッテ市場ヲ相當支配スルコトガ出来ルヤ否ヤト云フ疑ヒニ對シテモ、ソレハ相當支配スルコトガ出来ルト申上ダテ宜シイと思フデアリマス、又今日商人ガ扱ッテ居ルモノヨリハ、廉イモノヲ供給スルコトガ出来ルト云フコトモ、申上ダルコトガ出来ルト思フデアリマス、而シテモウツ衆議院等ニ於テ論ゼラレマシタ點ハ、從來ノ商人カラ供給スル場合ニ於テハ、多クハ貸賣ヲシテ居ルノデアル、サウシテ翌年收穫ノ上ツタ時ニ初メテ代金ヲ支拂ハセルト云フヤウナ慣習ニナッテ居ル所ガ多イノデアル、今度ノ政府ノ案ニ依レバ直接現金引替ト云フコトニナル模様デアアルカラ、農家ニ取ッテハ却ッテ苦痛ニナリハセヌカト云フヤウナ何モアリマス、是ハ成程其通りデ、一應尤モニ間エマスルガ、政府ノ方デハ成程現金デサウヤリマスケレドモ、政府トノ直接關係ハ産業組合乃至農會ト云フモノガ直接關係ニナッテ居ルノデ、之ニ向ッテ政府ガ賣渡シマス、現金ニ依ッテ賣渡シマスルト云フコトニナッテ居リマスカラシテ、其組合ハ組合員ニ向ッテソレト供給

スルト云フコトニナリマスカラ、ソレハ組合ガ其組合員カラ現金ヲ取立テルカ、又ハ或期間信用ヲシテ貸與ヘテ置イテ、次ノ年ニ至ッテ初メテ之ヲ取立テル方法ニスルト云フコトハ、組合ト組合員トノ關係ニナリマスルノデアリマスルガ、多クノ場合ニ於テハサウ云フ組合ト組合員トノ間ニハ、信用取引ガ出来ルモノト假定シテ差支ナイダラウト思フデアリマス、ソレヲ從來ノ取引ハ貸賣ヲシテ居リマスルカラ、エライソレハ農家ニ取ッテ便利ノヤウニ見エマスガ、便利ハ便利デアリマスガソレ故ニ農家ト云フモノハ非常ニ高イ肥料ヲ買ハナケレバナラヌト云フコトハ、農家ノ事情ヲ御承知ノ方ハ能ク御承知ノコトデアラウト思ヒマス、其翌年ノ米ノ收穫ノ時若クハ麥ノ收穫ノ時ニ、米若クハ麥ヲ以テ取ルト云フ場合ガ多イノデゴザイマスカラ、一面ニ於テハ高イ利息ヲ取リマスシ、一面ニ於テハ高イ代金ノ拂ヒヲスル米ノ直段、麥ノ直段ト云フモノニ於テモウツ搾リヲスルト云フ譯デ、農家ハ二重三重ニ一年間ノ代金ノ猶豫ヲ得ル爲ニ、高イ附加金額ヲ支拂ハナケレバナラヌト云フ形ニナッテ居ルノデ、是ガ農家ノ最モ苦シメ居ル點デモアリマスノデ、ソレ等ノコトハ産業組合ヲ通ジテヤラセル方法ニ依ッテ、十分ニ緩和スルコトガ出来ルデアラウト思ヒマス、又大體サウ云フヤウ

ナ積リヲ以テ是ハ組立テガシテゴザイマス、尙ホ詳シイコトハ御質問ニ應ジテ申上ダマス
○委員長(子爵渡邊千冬君) ソレデハ續イテ米穀需給調節ノ方ノ御説明ヲ願ヒマス
○國務大臣(山本悌二郎君) ソレデハ米穀需給調節特別會計法ノ改正案デゴザイマス、御説明ヲ申上ダマス、米穀法ハ大正十年四月初メテ制定實施セラレマシテ、其後大正十四年三月ニ改正ヲ加ヘタノデアリマスルガ、政府ハ本法ノ運用ニ依リマシテ米穀ノ需給及米價ノ調節ニ鋭意努力シ來リマシタ結果、我國ノ米價ハ其施行前ニ比ベマシテ著シク平準ヲ得ルニ至リマシテ、相當顯著ナル效果ヲ舉ゲ得タノデアリマス、然ルニ米穀法ノ此運用ニ付キマシテハ、相當多額ノ資金ヲ要スルノデアリマスルガ、現在ニ於キマシテハ此米穀需給調節特別會計ノ資金ガ頗ル餘裕ガ少クナリマシテ、到底十分ニ米穀法ヲ運用シテ、其實力ヲ發揮スルコトガ出来ナイ状態ニ立ッテ居ルノデアリマス、我ガ農村ノ現状ニ鑑ミマシテ、此特別會計ノ資力ヲ此儘ニシテ置クト云フコトガ出来兼ネマスノデ、此際取敢ズ此改正案ヲ提出イタシマシテ、借入金ノ限度ヲ七千万圓増額イタシマシテ、之ニ依ッテ此米穀法ノ運用ニ支障ナカラシメヤウト云フ積リデアアル、尙ホ此現行ノ米穀法ヲ見マスル

ノニ、其制定サレマシタ以來米穀ノ事情ニモ幾多ノ變遷ヲ來シマシタ爲ニ、今日ニ於テハ此儘ニ之ヲ運用シテ行クト云フコトハ幾多ノ困難ヲ感ズル事情ガ生ジテ居リマス

ノデ、從テ米穀政策ノ根本ニ適テ、更ニ十分ナ調査研究ヲスル必要ヲ感ジテ居ルノデアリマス、尙又米穀需給調節事業ノ經理ニ

關シマシテモ、現在ノ特別會計ノ制度ニ付キマシテモ、根本的ニ調査研究ヲ遂ゲルノ必要ヲ感ジテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ

政府ニ於キマシテハ、是等ノ點ニ付キマシテ別ノ調査會ヲ設ケマシテ審議ヲ遂ゲル考ヘデゴザイマス、其所要ノ經費ハ追加豫算

トシテ提案シテアルノデアリマス、故ニ今回提案イタシマシタ七千万圓ノ運用資金ノ

増額ト云フコトハ、此根本ノ方針、根本ノ改正ニ付テノ成案ヲ得マシテ、之ヲ實行ス

ルマデノ間ノ應急手段、暫定的ノ方法ト御諒承置キテ願ヒタイト思ヒマス、是ガ特別會計ノソレ自體ノ計算上ノ詳細ノコトニ

至ッテハ財務當局ニ於キマシテ、尙ホ御質問ニ應ジテ御答ヘ致スコトニ致シマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 山田君ニ申上ダマスガ今ノ米穀ニ關スル法案ノ方ハ一應

ノ御説明ガアリマシタガ、質問等ヲ致スノニ此違タ種類ノ法案ノ質問ガ錯綜シテ出

テハ大變ニ不便デアルト思ヒマスノデ、説明ハ只今願ヒマシテ、又適當ノ機會ニ大藏

當局カラ願ヒタイト思ヒマス、質問ハ又此肥料管理法ダケニシテ、ソレガ終リマシテ後ニ米穀法ノ方ニ移ルコトニ願ヒタイト思ヒマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○志村源太郎君 私ハ今日初メ特色ノ御計畫ノ書付ヲ拜見イタシマシタカラ、極メ

テ初步ノ質問ヲ致スカモ知レマセヌガ、ドウゾ御恕シテ願ヒタイ、肥料管理法ト仰シ

ヤルカラ全體ノ肥料ノ管理ヲナサルコトト考ヘテ居タガ、只今農林大臣ノ御話デモ、

本來ハ肥料ノ專賣ガ宜イノデアアルケレドモ、ソレハ種々ノ事情デイカヌカラ、先ヅ

管理スル、斯ウ云フ御話デアッタト思ヒマス、販賣肥料ヲ全部管理ナサルコト云フコト

ガ自然ノ歸結トシテ來ナケレバナラヌコトト思フ、販賣肥料ノ專賣ノ代リニ全體ヲ管

理シテ行ク、ソレヲ以テ專賣ニ代ヘルト云フヤウナ結論ニナッテ來ルト思ヒテ居リマシ

タガ、段々御取調書ヲ拜見イタシマスト、咄嗟ノ間ノ拜見デスカラ未ダ果シテ正鵠ヲ

得テ居ルカドウカ分リマセヌ、全體ノ販賣肥料ノ部分デアアル所ノ硫酸「アムモニア」ヲ

管理スル、其硫酸「アムモニア」總體ノ需要高ノ四分ノ一ダケ管理スル、ソレヲ以テ肥料

ノ配給ノ圓滑、價格ノ安定ヲ圖ッテ農家ニ裨益シヤウト云フヤウナ計畫ノヤウデアリマス、勿論財政ノ御關係ヤラ何ヤラデ其處

ニ至ッタノデアラウト思ヒマスガ、極メテ

何ダカ徹底シナイヤウナ氣ガスル、農家ガ使フ所ノ販賣肥料ハ、硫酸「アムモニア」ノミデアリマセヌ、其他ニモ澤山アル、其總體ノ額ノ管理ナラバソレハ宜イノデアリマ

スガ、其總體ノ一部分、四分ノ一ヲ管理スル、之ヲ以テ肥料ノ管理即チ肥料ヲ安價ニ

供給スルト云フ目的ガ達セラレカドウカト云フコトガ、疑問ガ起ッテ來ルノデアリ

マス、ソレカラ言葉尻ミタヤウデアリマスガ、管理ト仰シヤルガ管理デナクシテ、唯

硫酸「アムモニア」ノ四分ノ一ノ販賣ヲ政府ガナサル、新規ニ肥料商的ノ行動ヲナサル

ト云フコトデ、管理ト云フコトデハナイヤウナ氣ガ致スノデアリマスガ、是モ管理デ

アリマセウカ、管理ト云フトモウ一步進シテ、農家ノ生産者ノ利益ヲ圖ルト云フヤウ

ナ方ノ必要ガアルヤウナ氣ガ致スノデアリマス、ガ此點ハ如何デアリマセウカ、要ス

ルニ之ヲ要約イタシマスト云フト、總體ノ販賣肥料ノ高ノ極ク少部分デアアル、極メテ

一部分ヲ捉ヘテ、ソレヲ唯政府ガ賣タリ買タリスルダケデ、肥料ノ管理、生産者ノ

爲ニ、今日生産ノ費用ノ大部分ヲ占メテ居ル肥料ヲ安クスルト云フ目的ガ達セラレマ

スカドウカト云フ疑ヒガ實ハ出テ來タノデアリマス、其點ヲ疑惑ヲ解イテ戴キタイト

思ヒマス

○國務大臣(山本悌二郎君) ソレハ當局ト致シマシテモ、如何ニシテ最小ノ方法ヲ以テ、最大ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルカト

云フコトハ最も苦辛シタ點デアリマシテ、先刻申シマシタ通り全體ノ販賣肥料ト云フ

モノ、若クハ其以上ニマデ超越シテ要スル肥料ヲ專賣ニスルヤウナコトガ出來ルナラ

バ、一番徹底スルカモ知レナイガ、是ハ財政其他ノ狀態カラ今俄ニ之ヲ實行スルコト

ハムツカシイ、サウダッタナラバセメテ販賣肥料ノ三億七八千万圓ニナル其全體ノ管理

ヲセシメタラドウ云フコトニナルカ、是モ十分ニ考慮イタシテ見マシタガ随分多種多

様ニ互ッテ居リマス、豆粕ノ如キガ最も大ナルモノデアリマスケレドモ其他ニモアル

ヤウデゴザイマスシ、サウシテ是モ又相當ノ資金關係ニ於テナカノ大キナモノニモナ

ル計算ニナルノデス、サウスルト更ニ退イテ、然ラバ何カ其處ニ販賣肥料ノ中樞トナ

ルモノヲ押ヘテ、ソレヲ管理ト云フト言葉ガ適當デアルカドウカト云フコトハ後カラ

申上ダマスガ、之ヲ要スルニ政府ノ手デ支配スル、販賣肥料ノ中ノ重要ナル中樞ノ支

配力ヲ持ッテ之ヲ政府ノ手ニ掛ケテヤルト云フコトニ依ッテ、相當效果ヲ收メルカドウカト云フコトモ研究シテ見マスト云フト、肥料ノ中ニ最も多ク使用サレルモノハ窒素肥料、其窒素肥料ノ中樞トナッテ居ルモノ

ハ硫酸「アムモニア」、是ハ志村君モ御承知ノ通りデアリマス、ソコ此硫酸「アムモニア」ト云フモノヲ握リテ、是ニ相當ノ牽制ヲ加ヘルコトガ出來ルトスルト、勢ヒ他ノ窒素肥料ニモ亦及バザルヲ得ナイ結果ニナルコトハ當然デハナイカ、其傾向ハ現在ト雖モアルノデアリマス、即チ豆粕ノ中ノ窒素肥料、硫酸「アムモニア」ニ中ニ含シテ居ル所ノ窒素肥料、是ガドナラガ高イモノニナルカ、ドナラガ安クナルカト云フト、硫酸「アムモニア」ガ一番安クナッテ居ル、段々施肥シテ經驗上、農家モドナラガ安クテドナラガ高イ、ドナラガ利イテドナラガ利カナイト云フコトヲ覺テ來タ爲ニ、近來硫酸「アムモニア」ノ消費ト云フモノハ非常ニ増加シテ、其割合ガ一步步豆粕ガ減少スルヤウナ状態ニナッテ來テ居リマス、ダカラ結局一般窒素肥料ノ中ノ中樞ヲ握レバ他ノ窒素肥料ニ、更ニ進シテ他ノ窒素肥料以外ノ窒素肥料ト共ニ、他ノ養分ヲ含シテ居ル肥料ニマデモ價格ニ影響ヲ及ボスコトガ出來ヤウ、コ、ガ即チ硫酸「アムモニア」ヲ一ツ摺マヘテ、核心ヲ一ツ摺マヘテ、之ニ相當ノ牽制ヲ加ヘルコトガ出來タナラバ、他ノ窒素肥料ハ勿論窒素並ニ他ノ肥料分ヲ含シテ居ル販賣肥料迄モ、相當ノ影響ヲ及ボスコトガ確カニ出來ルデアラウ、斯ウ云フ立場カラ硫酸「アムモニア」ト云フコトニ先ヅ眼ヲ著

ケタノデアリマス、ソレナラバ硫酸「アムモニア」ノ全部ヲシナケレバイカヌカドウカト云フコトハ問題ニナッテ來ル、成ルベク小サナ力ヲ用ヒテ大キナモノヲ動カスコトガ出來レバ宜イノデアルカラ、此硫酸「アムモニア」ヲ全部管理シナケレバイカヌカト云フ問題ニ逢著シテ研究シテ見マス、必ズシモ全部デナクテモ宜シイ、斯ウ云フ即チ昭和十三年、今カラ十年後ノ計算ノコトヲチョット申上ゲマス、現在ノ所四十萬噸……四十五萬噸ノ所デハ其比率ハ同ジヤウナモノデスガ、昭和十三年度ニ九十五萬噸ノ全體ノ需要ガアツクシテモ、其中デハ朝鮮トカ臺灣トカヘ移出サレルモノモアリマス、ソレカラ又外ノ肥料ノ原料ニ使ハレルモノモアルト云フ譯デ、差引イタ所デ、九十五萬噸ノ中何十萬噸ト云フモノハ其方ヘ引ケル譯デ、其殘タモノガ年々ノ需要量ニナルノデアリマス、年々ノ需要量ノ中デ最盛時期六箇月間ニ需要サレルモノハ、四十六萬噸カソコト云フコトニナッテ居ル、其最盛期ガ一番價格ノ動搖スル時デアルカラ、此四十六萬噸ノ半分ヲ押ヘサヘスレバ、サウスレバ確カニ威力ヲ發揮スルコトガ出來ル、サウスルト結局二十三萬噸ニナル、二十三萬噸ト云フモノヲ全體ノ需要量ノ九十五萬噸ニ比ベマス、如何ニモ小サイヤウデアリマス、ケレドモ、

サウス云フ今申上ゲタ筋道デ、二十三萬噸デ矢張り相當、九十五萬噸マデ支配スルコトガ出來ルノミナラズ、更ニ此硫酸「アムモニア」ト云フモノノ價格ガ支配出來レバ、サウスレバ例ヘバ豆粕ノ如キ、窒素並ニ其他ノ燐酸加里モ含シテ居リマス、ケレドモ、主トシテ窒素ヲ使フ其豆粕ノ價格迄モ、確カニ影響スルコトガ出來ル、硫酸「アムモニア」ガ安クナレバ從テ窒素ヲ含シテ居ル他ノ販賣肥料ノ價格モ勢ヒ安クナラザルヲ得ナイノデアリマス、サウス云フヤウニ考ヘテ見マス、此僅カ十年デ二十三萬噸ト云フ數量デハアリマス、ケレドモ、是ガ販賣肥料ノ全體ニ大體何ヲスルコトガ出來ルドラウト思フ、併シソレハ例ヘバ九十五萬噸ノ全部若クハ販賣肥料ノ全部ノ三億八千萬圓ノ方ハ、是ハ悉ク無理スルコトニナレバソレ以上ノコトハナイ、此方ガ確實性ガアルト云フコトハ分リ切ッテ居ル、更ニ進シテハ全部ノ專賣ヲヤレバ尙更徹底スルコトガ出來マス、ソコハ即チ財政上ノ都合デ、一番少ナイ力ヲ以テ比較的ニ完全ニ目的ヲ達セラルル方法ハ、ドウカト云ヘバ即チ此法案位ノ所デアラウト云フ譯デアリマシテ、是ハ決シテ十二分ニ完全ナモノト申上ゲル譯デハナイノデアリマス

○志村源太郎君 販賣肥料三億八千萬圓デ其中デ硫酸「アムモニア」ハドノ位デスカ

○國務大臣(山本悌二郎君) 六千萬圓モアリマセウカ……

○志村源太郎君 ソンナモノデスカネ

○國務大臣(山本悌二郎君) 三億八千萬圓ノ中デ硫酸「アムモニア」ガ五六千萬圓位シカナイ、其殘リノ大部分ハ恐ラク豆粕デアラウト思ヒマス、所ガ此豆粕ガ漸次年々硫酸「アムモニア」ニ侵サレテ減テ來テ居ル、ソレカラモウ一ツノ管理ノ名稱ガ適當カドウカト云フコトハ、衆議院ナドデモ起ッテ質問デアリマス、或ハ適當デナイカモ知レマセヌ、外ニ適當ナ名前ガアレバ何レニシテモ差支ナイノデスケレドモ、管理ト云フ名前ヲ附ケテ置キマシタ、又肥料ト云フ言葉ハ餘リ大キ過ギハセヌカ、三億八千萬圓ノ此販賣肥料ノ中ノ、僅カバカリノモノヲ管理スルダケデ、各種ノ肥料ガアル中其殆ド一小部分デアルカラ、肥料ト云フテハ甚ダ僭越ダト云フ御質問ガ衆議院デモ起リトテ硫酸「アムモニア」管理ト云フ名前ヲ附ケル譯ニモ行カヌ、硫酸「アムモニア」ハ今豫定シテ居リマス、ケレドモ石灰、窒素……其他含窒素肥料モ將來此管理ノ中ニ取入レラレルコトニナッテ居リマス、此需要ガサウスレバ……、サウス云フ譯デアリマス、カラ硫酸「アムモニア」ノ管理ト云フ名前ヲ附ケルコトモイカヌ、小サイモノダガ大

キ名前が付イテ居ルデヤナイカト云フ質問ニ對シテ、小サイモノニ大吉ト云フ名前ヲ附ケルノト同ジデアルト云フ答辯デアリマシタ

○志村源太郎君 私ハ名前ヲ彼此レ言フノデアリマセヌガ、肥料管理ト打出シテアルカラ、將來三億八千万圓迄モ進ンデ行ク法文ニナッテ、是ガ第二ノ米穀法ニナルノデハナイカト云フ氣ガスルノデスガドウデセウ

○國務大臣(山本悌二郎君) 眞ニ斯ウ云フ法律ノ目的、即チ此安イ品物ヲ、即チ原價

ヨリ餘リニ高カラザルモノヲ、之ヲ均等ニ、サウシテ始終續イテ其需要ノ何ニ應ジテ、圓滑ニ之ヲ配給スルト云フ此目的ヲ達成シヤウト思ヘバ、專賣ガ私ハ個人トシテハ一番良イト思ヘテ居ル、現ニ今ノ鹽ノ專賣ガ、アレハ從來ハ收入專賣デアッタノデスケレドモ、半頃カラ殆ド目的ガ變テ、唯分配ノ方ノ專賣ト今ナッテ居リマス、其結果ハ御承知ノ通り相當ニ鹽ノ價格ガ安定サレテ、サウシテ原價ヨリ餘リ高カラザルモノニ於テ滯リナク配付サレテ居ルノデアリマスカラ、ア、云フ工合ニ肥料ガ行クト云フコトガ理想デアるかと思フ、其處ヘ行ク道程トシテ或ハ今管理案ヲ擴張シテ、全部ノ販賣肥料ニ及ボス、ソレカラ更ニト云フコトニナルノガ宜シイノデアるか、或ハ一通リ先ヅ斯ウ云フコトニシテヤッテ、サウシテ更ニ

財政其他ノ都合ノ宜シキ時機ニ於テ專賣ト云フヤウナ所ニ一足飛ニスルガ宜イカト云フコトハ、是ハ餘程御考ヲ願ハナケレバナラヌ問題ト思ヘテ居リマス、ダガ併シ今差當リノ所デ是デヤッテ見テ、此次ハドウスルカ、ソレヲ全部ノ販賣肥料ニ及ボスノデアるかト云フ御尋ニ對シテハ、今差詰メサウ云フ考ハ持ッテ居リマセヌ

○加藤政之助君 皆サンガ即時ニ御質問ナサルト云フコトデアリマスレバ、ソレハ謹

ンデ拜聽スルノデアリマススケレドモ、私個人トシテハ今説明ヲ聽キ、今書類ヲ受取ッタダケデハドウモ……此書類ヲ一應眼ヲ通サヌト云フト、質問ノ條項ノ整然トシテ整ヘルコトガ出來ナイ、切レ切レナル質問ヲ申上ゲルコトハ甚ダ遺憾千萬ニ存ジマス、成ルベクハ一ツ此書類ヲ一讀スル餘地ヲ與ヘテ戴キタウゴザイマス、今日ハ此程度ニ止メテ……
○子爵大河内正敏君 質問ヲ此程度ニ止メル止メナイト云フコトニ掛リマス以前ニ、少シ材料ヲ頂戴シタイト思ヒマシテ、材料ヲ請求シタイト思ヒマス
○委員長(子爵渡邊千冬君) 宜シウゴザイマス
○子爵大河内正敏君 尙ホソレニ關聯シテ質問イタシタイト存ジマス
○委員長(子爵渡邊千冬君) ドウデセウ

カ、私モ加藤君ノ御考ハ尤モダト思ヒマスガ、簡單ナ御質問ナラナンデスガ、一應此材料ヲ精讀シタ後ニ、明日ニデモ願ッたら如何デセウ

○子爵大河内正敏君 私ノ質問ハ此材料ヲ御覽ナラズニ、材料ニ關係ノナイ質問デアリマス、今御聽キ下スッたら御分リニナル事デアリマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) ソレデハ大河内子爵

○子爵大河内正敏君 私ノ第一ニ伺ヒタイノハ、肥料ヲ專賣ニスルト云フコトノ前提トシテ、此肥料管理案ガ提出サレタト云フコトデアリマスカ、或ハ專賣トハ全ク關係ナシニ肥料管理法ヲ、肥料管理ヲ少シ試ミテ見テ、其結果ニ依ッテ或ハ專賣ニモ進マナケレバナラヌト云フコトデアリマセウカ、ト云フコトガ質問ノ骨子デアリマス、ト云フノハ私ハ肥料管理ト云フコトニ對シテ、最も熱心ナル賛成ヲシテ居ル一人デアリマス、而シテソレト反對ニ肥料專賣ト云フコトニ對シテハ極力反對スル一人デアリマス、ト云フノハ專賣ト云フモノハ、根本ノ主義トシテ國家ノ收入ヲ圖ルベキモノデアル、收入ヲ圖ルノガ目的デアッテ專賣法ト云フモノガ布カレルノデアラウト思フ、是ハ例ヘバ煙草ニシマシテモ、其他ノ物ニシマシテモ、外國ノ例ヘバ佛蘭西ノ「マッチ」

ニシマシテモ總テ收入ヲ基ニシテ居リマス、肥料ノ如キ農民ノ安ク供給シテ貰ヒタイト云フモノヲ、專賣ニスルト云フコトハ最も宜クナイト思ヒマス、ト云フノハ何デアるかト云フト鹽ノ專賣デ我々ハ苦イ經驗ヲ持ッテ居ル、鹽ノ專賣ハ初メハ收入ヲ目的トシテ、今御話ノ如ク出來タノデアリマスガ、其專賣ノ結果ハドウカト云フト、日本ノ製鹽業ト云フモノガ頗ル廢類シテシマッタ、鹽ヲ作レバ相當ノ價格デ政府ガ買上ゲルノデ、製鹽法ノ改良トカ研究トカ云フコトハ無視サレテシマッテ、非常ニ生産費ノ高イ鹽ガ出來ルヤウニナッタ、成程鹽ノ生産費ト一般ノ消費者ノ手ニ這入ル價格ノ間ニ差ハ少イデアリマセウガ、生産費其モノガ高イノデアリマス、其證據ニハ今本會議ニ上程セラレムトシテ居ル製鹽地ノ整理法案ノ如キガ、其最も雄辯ニ此事實ヲ物語ッテ居ル、此事實カラ見マシテモ、專賣ト云フコトハ肥料ニ對シテハ極力避ケンケレバナラナイ問題ト思ヒマス、ソコデ何故管理ガ必要デアるかト云フト、一方ニ於テ生産ヲ助成シテ行キタイ、生産ヲ助成シテ行ッテ生産費ノ低下ヲ圖ッテ行キタイ、サウシテ農民ニ安イ肥料ヲ供給シタイトノデアるか、管理ノ場合ニハ收入ヲ目的トスルノミナラズ、寧ろ政府ハ管理ノ爲ニ損失ヲ來シテモ差支ナイト思フ、農民ニ安イ肥料ヲ供給ス

ル爲ニ收入ヲ目的トスル必要ハナイ、損ヲシ
テモ差支ヘナイニ二千万圓ノ程度ニ借入金ガ
出来ルト云フコトデアリマシタガ、之ヲ假
リニ二千万圓毎年損シテモ、何ガ益スル
カト云フト農民ガ益スルノデアル、今日ノ
農民ハ最も總テノ産業ノ中デ以テ一番割合
ガ悪い、生産費トソレカラ賣上ダトノ差ヲ
見マスト云フト、非常ニ割ノ悪い産業ニ従
事シテ居ル、其爲ニ年々農村ガ疲弊シテ行
キマシテ、ドウシテモ國家トシテ救済シテ
行カナケレバナラヌ、同時ニ食糧問題モ考
ヘナケレバナラナイト思ヒマスカラ、出来
レバ肥料ヲ只デ農民ニ供給シテヤリタイ、
官營デモ管理ヲシテ、其爲ニ政府ガ損失
ヲ來スコトハ、ナットモ私ハ差支ノナイ歡迎
スベキコトト思ヒマス、動トモスルト專賣
ニナリカカッテ收入ヲ目的ニスルヤウニ思
ハレマシ、ソレカラ今日頂戴シマシタ材
料ダケデハ、農民ノ所謂苦シイ程度、例ヘ
バ米ヲ一石生産スルノニ生産費ガドノ位カ
カルカ、自己ノ一家族ノ勞賃ガ一日ノ位
ニ見積ラレテ、是ダケノ生産ガ出来テ行ク
カ、其中肥料ハドノ位カ、居ルカト云
フコトヲ伺ヒマシタナラバ、ドウシテモ此
肥料管理法ノヤウナモノニ依テ、農民ニ安
イ肥料ヲ供給シテヤラナケレバナラヌト云
フコトガ、ヨク分ルヤウナ材料ヲ頂戴シタ
イト云フコトヲ要求シマスノト、モウ一ツ

ハ當局ハ之ヲ以テ專賣ニ進マレルカト云フ
コトヲ、豫メ伺フテ置キタイト思ヒマス
○國務大臣(山本悌二郎君) 只今御請求ノ
調ハ調バツテ居リマス限リヲ御手許ニ直グ
差出スヤウニ致シマス、ソレカラ是ガ專賣
ノ前提デアルヤ否ヤト云フ御尋ガゴザイマ
シタガ、私只今志村君ノ御尋ニ對シテ御答
シタ中ニ、私見ヲ專賣ニ觸レテ申上ダタノ
デアリマスルケレドモ、私ガ專賣ト云フ言
葉ヲ使ヒマシタノハ、或ハ當ヲ得ナイカモ
知レマセヌ、普通專賣、即チ「モノポリー」
ト云ヘバーノ收入ヲ目的トシタルモノトシ
テアルヤウデアリマス、私ハ其意味ノ專賣
ノ積リデハ無論ナイノデアリマシテ、或ハ
ソレコソ管理ト云フ言葉ヲ用ヒタ方ガ適當
デアルノカモ知レヌノデス、是ハホンノ一
部ノモノデアリマスケレドモ、之ヲ擴大シ
テ、サウシテ全體ノ販賣ヲ專賣ニスルト云
フヤウナ、而モ其組織ハ必シモ此通りデハ
イカヌカモ知レマセヌケレドモ、總テノ肥
料ノ販賣ト云フモノヲ政府ノ手ニ一括シ
テ、其配給ヲ圖リ、其價格ノ取極メヲスル、
斯ウ云フ立テ方ヲ私ハ專賣ト、假リニ言葉
ヲ用ヒルニ過ギナイノデゴザイマスガ、併
シ全ク言葉ヲ約メテ申シマスレバ此先キ、
今ドウシヤウト云フ考ヘハ、志村君ノ御尋
ニ對シテモ御答申上デマシタヤウニ、持ッテ
ハ居リマセヌ、從テ之ヲ此以上ノ管理ニス

ルカ、或ハ所謂專賣デスカ、ドウシヤウト
云フコトノ考ハ只今ノ所デ持ッテ居リマセ
ヌ
○委員長(子爵渡邊千冬君) 大河内君ハ御
質問ハ終リマシタカ
○子爵大河内正敏君 質問ハ澤山アリマス
ガ、延期スルト云フナラ何デゴザイマスガ、
若シ何ナラモウ少シ進マシテ置イテモ宜イ
ト思ヒマス
○委員長(子爵渡邊千冬君) ソレデハ本日
ハ之ヲ以テ散會イタシマス、明日ハ午前十
時カラ開會イタシマス
午後二時八分散會
出席者左ノ如シ
委員長 子爵渡邊 千冬君
副委員長 男爵東郷 安君
委員
侯爵大隈 信常君
子爵松平 直平君
子爵大河内正敏君
男爵松岡 均平君
男爵近藤 滋彌君
志村源太郎君
湯地 幸平君
加藤政之助君
根津嘉一郎君
山田 惠一君
國務大臣 農林大臣 山本悌二郎君

政府委員

農林省農務局長 松村眞一郎君
農林書記官 井野 碩哉君